

# たかなわ会からのお知らせ

## 定時総会を開催しました

2015年5月26日の午後6時30分から、東京都千代田区の霞が関ビル35階にある東海大学校友会館で、たかなわ会の定時総会を開催しました。

来賓として、学校法人東海大学常務理事で東海大学同窓会副会長の後藤俊郎様、情報通信学部吉田正廣学部長をはじめとする多数の教職員をお招きし、興亜通信工学院や情報通信学部の卒業生も交え、ご出席いただいた会員の皆さんと議事を進めました。

議長に選任された和田洋治副会長により進行された議事は次の通りです。

### ●議事

- ①2014年度事業報告
  - ②2014年度収支決算報告
  - ③2015年度事業計画(案)
  - ④2015年度収支予算計画(案)
  - ⑤その他
- ①④の議案については、福田力会長の説明を踏まえて議事がはかられ、それぞれ原案のとおり承認されました。
- ◆2014年度事業報告
- たかなわ会では2014年度、次の

方針を掲げて活動に取り組みました。

①高輪キャンパスの歴史、伝統を引き継ぎ、情報通信学部の発展に寄与すること ②同窓会活動の強化と周知を図り、会員の参加を増やすこと ③高輪地域のコミュニティ活動に参加するなどです。

方針①の具体的な活動としては、高輪校舎の建学祭に参加して東北復興支援・マグロ解体ショー・海産物販売に協賛したほか、部活屋台・企画展示への表彰活動を支援しました。また、年末には第17回松前仰杯争奪ボーリング大会を開催しました。

②の活動としては、第2回高輪カミングデーを建学祭の期間に合わせて高輪校舎で開催しました。また、会員名簿の整備に取り組み、「高輪だより第43号」を送付した際には住所不明による返送を大幅に減少させました。さらに、たかなわ会ホームページの運営について、情報通信学部の学生から協力を得られることになりました。そのほか、同窓会の将来像や維持会費のあり方を議論し、2020年度までの財務計画を整えました。情報通信学部同窓会との交流を重ねると同時に、東海大学同窓会本部とも連携を深め、湘南校

## デジタルネイティブの学生たちを技術者・研究者に育てる



東海大学情報通信学部  
情報メディア学科講師  
星野 祐子

この度、熊本地震で被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。また本学、熊本・阿蘇両キャンパスにも大変な被害が出ておりますが、その様な状況の中でもボランティアとして活動している学生・教職員の皆様に感謝申し上げます。

私は東海大学短期大学部電気通信工学科に入学し、二年間を高輪の地で過ごしました。その後、他大学へ編入学し、大学院卒業後は高輪にありましたソフトウェア開発関連の企業に就職し、システム開発の仕事をしてきました。しばらくのち、縁あって、再び教員として高輪に戻ってまいりました。現在は情報通信学部情報メディア学科でお世話になっております。

私が短大生だった当時は中庭やログハウスがあり、狭いキャンパスの中にも緑の木がある憩いの場があり、ここで友人たちとたくさん話をしました。また、自宅にPCがある学生も少なかったので、授業終了後に皆で残って課題プログラムを作成したり、レポートの作成をしたりしていたことを思い出します。今は校舎も建て替わり、当時の面影は門の付近にある桜の木と小さな

池くらいになってしまいました。毎年咲く桜を見ると、入学した当時を思い出します。

現在、高輪校舎には情報通信学部4学科があり、2016年度も約340名の新1年生が入学してきました。この学生たちの多くが生まれた1997年頃は日本でもインターネットが普及し、様々な企業が自社ホームページを立ち上げた時期でもあり、各家庭にもパソコンが普及した頃でもあります。まさにデジタルネイティブと呼ばれる、コンピュータやネットワークが使えない時代を知らない学生たちが入学してきております。

高輪では、このような学生たちが興味を持ち、技術者・研究者として活躍できるような教育の場を用意すべく、設備を整えております。また、これら地下の実験設備を最新のものに入れ替える計画も進んでおります。

また、部活動や地域活動も盛んにおこなわれるようになり、学生活動の場も学外へ広がっております。このような様々な学生活動には「たかなわ会」の皆様にも多くのご支援を賜っております。この場を借りてお礼申し上げます。

東海大学では毎年11月1日～3日に建学祭を開催しております。高輪を卒業された皆様には是非、新しい高輪校舎にお越しいただき、施設や現役学生たちの活躍の様子をご覧いただければと思っております。ぜひ母校に来ていただいて、世代を超えた同窓生同士の交流を図り、「たかなわ会」がより盛り上がることを願っております。



高輪神社例大祭などに参加しました。

## ◆2015年度事業計画

基本的な方針については2014年度を踏襲し、たかなわ会会則の改定についても引き続き検討する考えです。

具体的な活動としては、2015年度も高輪校舎建学祭に協力し、第3回カミングデーを実施する計画です(実施済)詳細は4面掲載)。また、情報通信学部や高輪校舎の施策、高輪地域との連携も深めてまいります(高輪建学祭で、地域住民や学生と御神輿巡礼に参加しました)高輪まつり2015(防災・減災を考える交流会に協力、参加しました)。また、「高輪だより第44号」は、同窓会本部の会員データベースとも照らし合わせ、例年にも増して多くの会員に発送を試みる予定です。

## たかなわ会と連携を深めて同窓会を成長させていきたい



情報通信学部  
同窓会会長  
市川 翔康

この度の熊本地震で被災された皆様には、心からお見舞い申し上げます。一日も早い復興をお祈りしております。

さて、情報通信学部同窓会は、1期生である私が卒業した2012年3月に発足した大変若い同窓会です。5年目を迎えたが、正直ここ数年の活動は活発とは言えないものでした。役員が地方や海外勤務となり、会合を持てなかったのがその一因です。

しかし、これからはこの状況を、我々が得意とする情報通信技術を駆使して克服していきたいと思っています。具体的にはフェイスブックのさらなる活用などを考えています。同時に、関係者と対面できる機会も活用していきます。毎年、高輪キャンパスの建学祭には来賓として参加させていただいております。会員はもちろん、現役学生や教職員の方々との交流を、より一層深めていきたいと思っています。

たかなわ会の皆様は同窓会運営に関する大ベテランです。今後はさらに連携を深め、ノウハウを伝授していただき、我々の会も成長していけたらと考えています。文字通り、ご指導、ご鞭撻のほど、お願い申し上げます。

こうした活動を重ねながら、たかなわ会では将来の同窓会のあり方を整えるべく、ロードマップ作りに取り組んでまいります。

## ◆たかなわ会役員

会長	福田 力
副会長	松本 弘 茶木 一徳
	和田洋治 廣田 一郎
	古川 一敏 宇野匡博
	渡辺賢治 野島甫映
副会長兼事務局	長 鷲 阪道雄
副会長兼事務局	長 代行 大竹義則
理事	加藤芳正 金田 弥月
	難波友彬 飯田卓哉
	梅村 聡 福士博之
	齋藤大輔 山崎陽子
	小西由文 重田勝己
	小峰正康 前浜泰行
	牧野誠子 大熊敏一
	石口武弘 松岡光生
	八谷 毅
監事	平田 靖 大崎安雄
参与	亀山富夫 大木 繁

◆クラス会・OB会認定団体(代表)

東海大学高輪硬式テニス部OB会(小峰正康) 昭和36年通本・三翔会(見目宏) 高輪スノースポーツ部(石口武弘) 高輪排球部(廣田 一郎) 興亜通信工学院第二部19年卒クラス(邨田繁) 高輪ワンダーフォーゲル部(小西由文) 昭和33・34年卒合同クラス会(大竹義則)

## スマートごみ箱を導入しました

高輪キャンパスで「スマートゴミ箱」を導入し、1月から使用しています。ゴミ箱にソーラーパネルが付いており、ゴミの自動圧縮機能を備えています。通信機能も搭載され、ゴミの蓄積状況を自動的に通知し、スムーズな回収が可能になるメリットがあります。欧米ではすでに導入されていますが、日本では本キャンパスが初めてです。

